

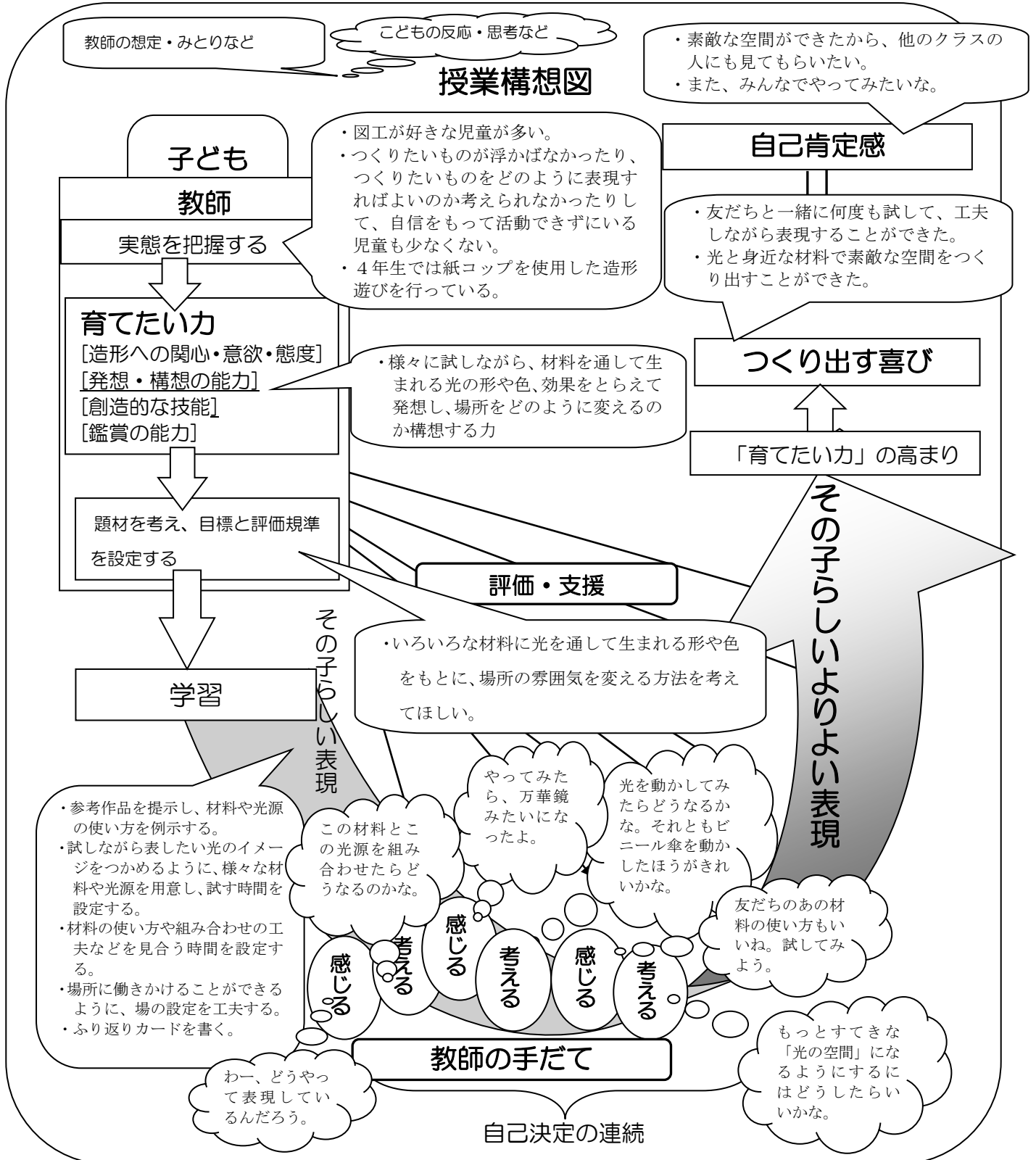
第5学年1組 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立下河原小学校

中島 愛子

1. 題材名 「光のハーモニー」 A表現(1) 造形遊び 3時間扱い

2. 「その子らしいよりよい表現」につながる授業の構想



3. 活動場所 図工室・図工準備室

4. 題材について ～テーマにせまるために～

テーマ つくりだす喜びを実現できる授業をめざして

(1) 子どもたちの実態

図工が好きで、つくりたいもののイメージをもって活動に取り組む児童がいる一方で、「こんな作品でいいのかな。」「どうやってつくればいいのか。」と自分の作品づくりに自信がもてず、手が止まってしまったり、一つ一つ教師に確認しながら活動を進めたりする児童もいる。そこで、この題材を通して、身近な材料と光源を使い、自由な発想で工夫して空間を変化させることで、表現する喜びを感じられるようにしたい。また、発想を広げたり、それを表現したりすることができるように、様々な材料を用意して試行する時間を確保し、友だちと工夫を共有する時間を設定したい。

(2) 題材と育てたい力

育てたい力：発想や構想の能力

造形遊びは、具体物にとらわれない表現や失敗のない安心感があり、図工を苦手としている児童にも取り組みやすいといえる。題材との出会いを大切に、子どもたちの「自分でもやってみたい。」という思いを原動力として活動を進めていく。その中で、子どもたちが自由に発想を広げ、空間に働きかけることができるようにしたい。そのために、様々な材料や光源に触れ、何度も試す時間を設定した。また、グループで活動したり、友だちと表現の仕方を共有したりすることで、自分の表現に自信がもてるようにする。また、児童の表現したい光の感じを共感的に受け止め、材料や方法について声をかけ、思いを表現できるように支援していきたい。

(3) 自分で「感じる」「考える」ことを大切にしたい手立て

～「その子らしいよりよい表現」につなげるために～

① 材料や光源の使い方を例示する。

教師が考えた光を展示した教室に児童を連れていき、そこから活動のイメージをつかませるようにする。また、どのように表現しているのかを考えたり、材料や光源の使い方を知ったりすることで、題材への興味・関心を高められるようにする。

② 発想を広げられるように、様々な材料や光源を用意し、試す時間を設定する。

予め様々な材料や光源を用意し、たくさん試す活動を行うことで、材料の組み合わせ方によって様々な表現ができることに気づくことができるようにする。また、その中で教室をすてきな「光の空間」にするというイメージがつかめるようにする。

③ 材料の使い方や組み合わせの工夫などを見合う時間を設定する。

試しながら見つけた表現方法や工夫を共有することで、自分の表現の参考にしてもよいことを伝える。自由な発想を認め合うことで、さらなる材料や組み合わせ方の広がりをもたせたい。

④ 場所に働きかけることができるように、場の設定を工夫する。

教室の壁や天井など様々な場所に光を投影させたり、光源を吊り下げて使用したりできるように、教室上部にロープを張ったり、ついたてを設置したりするなど、場の設定を工夫する。その中で、日頃使っている図工室を自分たちのアイデアで異なった空間へと変化させるという楽しみを味わうことができるようにする。

⑤ ふり返りカードを書く。

毎時間の終わりに活動のふり返りや次時に試してみたいことや取り組みたいこと、友だちの表現のよかったところなどを書くことで、見通しをもったり自信をもって取り組んだりできるようにする。また、それを見取り、個々の思いに共感しながら適切な支援ができるようにする。

5. 題材のねらい

○いろいろな材料に光を通して生まれる形や色を基に、光を当てた際の効果を試し、工夫して場所の雰囲気を変える。

6. 題材の評価規準 ～ 4つの観点から育てたい力を考える ～

造形への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
○投影される形や色を生かし、自分なりの思いをもって場所の雰囲気を変える活動に取り組もうとしている。	○場所との関係を考えて、投影される光が美しく見える方法を考えている。	○場所の特徴を生かして、光源と材料の組み合わせや並べ方を工夫している。	○できたものを友だちと見合っ、光がつくり出す空間の美しさを感じ取っている。

7. 準備

[教師] LED ライト、プロジェクタ、鏡、ビー玉、色セロハン、トレーシングペーパー、ミラーシート、セロテープなど

[子ども] (あれば、各自で考えた身近材)

8. 指導と評価計画 (3時間扱い)

	◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手だて ◎「感じる」「考える」ことを大切に にした手だて	評価規準【 】と 評価方法 ()
1 次 4 5 分	◇教師が考えた光を投影した教室へ行き、本題材の大まかな活動内容を知る。 ・きれいな光だな。 ・どうやってこんな光になるんだろう。 ・やってみたいな。	◎光源や材料によって様々な光の感じがあることを感じられるようにする。 ○どのような材料をどのように使って表しているのかを考えるように伝える。	
いろいろな光源や材料を組み合わせせて光を楽しもう			
	◇様々な光源や材料を組み合わせ、どのような表現ができるのか試す。 ・ビー玉に光を当てたらきれいなんじゃないかな。 ・鏡を使って反射した光はどうかな。 ・この光がもっとカラフルになったらいいのに…。	○光源の特性や注意事項等を伝え安全に活動できるようにする。 ・光を直接見ない。 ・水を使用する際は、光源に水がかからないようにする。 ・はさみを使用する際は、手元を光源で照らしたり、明るい場所に移動して使ったりする。 ・使わない材料や道具は元の場所に戻す。 ○色や光の強さ、映し方などをたくさん試し、いろいろな表現ができることを感じられるようにする。	【関・意・態】 投影した光を使った表現に興味をもち、光源と身近な材料を組み合わせせて表現することを楽しもうとしている。 (発言・児童の様子・ワークシート) 【発・構】 光源と材料を組み合わせ、光を使った表現を考えている。 (発言・ワークシート)
	◇試した光の表現を見合い、教室を「光の空間」にするために、どのような光の表現をしたか考え、ワークシートに書く。 ・反射した光がゆらゆら揺れているのいいな。	◎必要に応じて、同じ光でも映す場所によって感じが変わったりすることを伝え、次時に取り組みたいことを考えられるようにする。	

	<ul style="list-style-type: none"> ・次の時間は、天井に映してみよう。 ・どんな光にしようか、浮かばないよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちの表現のよいところを参考にして、使ってみたい光源や材料を考えるように声かけをする。 ○表してみたいものに合わせて、材料を各自で準備するように伝える。 	
<p>2 次 4 5 分 ／ 9 0 分 本 時</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 図工室をすてきな「光の空間」にしよう </div>		
<p>◇光を使って場所をどのようにして変化させたいかを考え、教室を「光の空間」に変化させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持って来た材料を使ってみよう。 ・この前つくった光を映す場所を変えたらどうなるかな。 ・ぼくの光と組み合わせてみたらおもしろそうだよ。 ・ライトをつるして上から光を当ててみよう。 <p>◇クラスのみんなでつくった光を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室全体が光でいっぱいになってきれいだな。 ・みんなでつくって楽しかった。 ・光でいろいろな表し方ができるんだな。 <p>◇ふり返りカードを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○構想したように光と材料を組み合わせながら、場所の様子を変えていかれるように支援する。 ◎表したい光のイメージが似ている友だちとグループで活動してもよいことを伝え、友だちとアイデアを出し合って、表し方を工夫できるようにする。 ◎場所の特徴も生かしながら、思い付いたことに合わせてつくりかえてもよいことを伝える。 ○材料を加工したり相談したりする明るい場と、遮光して投映する場を設定する。 ○前時に伝えた光源を使う際の注意事項等を再度確認する。 ○児童が持って来た材料以外にも色々な材料を準備し、必要に応じて持って行ってよいことを伝える。 ◎必要に応じて、子どもたちの思いを聞き、発想を広げる声かけや、技能的な支援を行う。 ◎それぞれが表したかった光の感じとその工夫を意識して鑑賞するように声をかける。また、個々の光だけでなく、教室全体の雰囲気にも目を向けるように伝える。 ◎友だちのつくりだした光の美しさ、表し方のよさなどをふり返りカードに書くように声をかける。 ○片付けの仕方について伝える。 	<p>【発・構】 場所との関係を考えて、投影される光が美しく見える方法を考えている。 (発言・児童の様子・ワークシート・)</p> <p>【創】 場所の特徴を生かして、光源と材料の組み合わせや並べ方を工夫している。 (作品・児童の様子)</p> <p>【鑑】 友だちのつくりだした光の美しさ、表し方のよさをとらえている。 (発言・ワークシート)</p>	

9. 本時の活動（2／3時間 45分）

(1) 本時のねらい

○様々な光源や材料を使い、工夫して教室を「光の空間」にする。

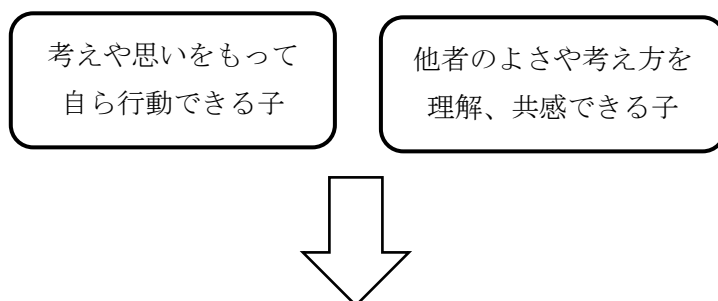
(2) 本時の展開

<p>◇子どもの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される子どもの反応 	<p>○教師のかかわり・手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎「感じる」「考える」ことを大切にしたい手だて 	<p>評価規準【 】と 評価方法（ ）</p>
<p>⊕キャリア在り方生き方教育の視点から見て大切なこと</p>		
<p>⊕工室をすてきな「光の空間」にしよう</p>		
<p>◇光を使って場所をどのようにして変化させたいかを考え、工室を「光の空間」に変化させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持って来た材料を使ってみよう。 ・この前つくった光を映す場所を変えたらどうなるかな。 ・ぼくの光と組み合わせてみたらおもしろそうだよ。 ・ライトをつるして上から光を当ててみよう。 ・このライトと材料をどうすればいいか、わからないな。 <p>◇ふり返りカードを書き、次時への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと友だちの光と組み合わせてみたいな。 ・ライトの並べ方を変えてみよう。 ・カラフルな光にしてみたいな。 	<p>◎友だちとグループで活動してもよいことを伝え、友だちとアイデアを出し合って、表し方を工夫できるようにする。</p> <p>◎場所の特徴も生かしながら、思い付いたことに合わせてつくりかえてもよいことを伝える。</p> <p>○材料を加工したり相談したりする明るい場（工準備室）と、遮光して投映する場（工室）を設定する。</p> <p>○前時に伝えた光源を使う際の注意事項等を再度確認する。</p> <p>○児童が持って来た材料以外にも色々な材料を準備し、必要に応じて持って行ってよいことを伝える。</p> <p>◎必要に応じて、子どもたちの思いを聞き、発想を広げる声かけや、技能的な支援を行う。</p> <p>○構想したように光と材料を組み合わせながら、場所の様子を変えていかれるように支援する。</p> <p>○紹介したい光の表現や活動して気づいたことを発表するように伝える。</p> <p>◎活動のふり返りや友だちの表現のよかったところなどを書くとともに、次時に取り組みたいことを考えることで、見通しをもって活動できるようにする。また、それを見取り、個々の思いに共感しながら適切な支援ができるようにする。</p>	<p>【発・構】 場所との関係を考えて、投影される光が美しく見える方法を考えている。 (発言・児童の様子・ワークシート・)</p>
<p>⊕友だちとアイデアを出し合ったり、作品を認め合ったりすることのよさについて伝える。</p>		

(校内研資料)

1. キャリア在り方生き方教育で身に付きたい基礎的・汎用的能力の重点
 - 自己理解・自己管理能力（考えや思いをもって自ら行動できる力）
 - 人間関係形成・社会形成能力（他者のよさや考え方を理解、共感できる）
2. 身に付けたい基礎的・汎用的能力の具体的な姿（高学年）
 - 課題に向き合い、自分なりの考えをもって取り組むことができる。
 - 思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考えたり、行動したりできる。
3. キャリア在り方生き方教育の視点

◆目指す子ども像



研究テーマ

「豊かなかわりの中で 自分の考えや思いをもって行動できる子をめざして」
～キャリア在り方生き方教育を意識した授業づくり～

子どもたちにとって自分なりの考えや思いをもって物事に取り組むことは、決して簡単なことではない。しかし、思いをもって取り組んだことから得られるものは大きなものではないだろうか。思いをもって取り組むことで、心がたくさん動き、学ぶこともたくさん出てくると考えられる。たとうまくいかなかったとしても、そこから学んだことは次に生かされ、自分を高めることにつながっていくのではないだろうか。

本学級の子どもたちは、図工に限らず様々な場面で自分を表現することが苦手な児童が多い。「これでいいのかな。」「友だちと違うのではないかな。」と自信がもてずにいる。そこで、キャリア在り方生き方教育を通じて、第一に「人間関係形成・社会形成能力（他者のよさや考え方を理解、共感できる）」ということを大切に授業を行いたい。友だちに自分の考えや思い、作品を認めてもらうことで自己肯定感を高め、自分を表現することに自信がもてるようにしたい。次に、その自己肯定感や友だちに受け入れてもらえる安心感を力として、「自己理解・自己管理能力（考えや思いをもって自ら行動できる力）」を育てていきたい。友だちとの関わりの中で、自分を表現することに自信がもてるようになってほしいと願っている。